

2020年7月27日

株式会社アイキャスト 第29回番組審議委員会 議事録

■日時： 2020年6月30日（火）14:00～15:00

■場所： オンライン会議で実施

■出席者： 番組審議委員

板東	浩二	様	(委員長)
夏目	幸明	様	(副委員長)
池田	昌史	様	
石田	紗英子	様	
稲島	司	様	
次原	悦子	様	
トム	ペリー	様	
中尾	信一	様	
美馬	敬	様	

アイキャスト

永田	勝美	(代表取締役社長)
沼尻	孝	(取締役副社長)
小林	智	(取締役)
宮里	系一郎	(取締役)
赤穂谷	匡広	(取締役経営企画本部長)
安西	浩樹	(サービス本部 編成部長)
服部	綾子	(経営企画本部 事業戦略部長)

## ■議事内容

### 1. 番組審議

#### (1) 『日向坂46です。 ちょっといいですか?』について

- ① インタビュアーがきかない、どうでもいいような質問をするのがすごく斬新でツボにはまる。その結果、なかなか聞けない話を聞いている。地上波では見れない、ひかり TVらしいコンテンツであった。
- ② 知名度の高いグループを起用しオリジナル番組を制作することはとてもよい取り組みである。価値の高いコンテンツを提供し続けることで、ユーザーの満足度が向上することはもちろん、プラットフォームのPRにもなる。
- ③ もっと踏み込んで具体的な話を引き出してほしかった。本職の記者から指導を受けてインタビューに挑めばより興味深い話が聞けると感じた。
- ④ インタビューだけではなく、話の合間に実験を挟むと、番組のテンポがより良くなるのではないか。
- ⑤ バラエティ番組であるが科学、物理のエッセンスが取り入れられている。教育コンテンツに進化させられればロングテールで提供できる番組になる。

#### (2) 『麻雀 BATTLE ROYAL 2020 チーム・チャンピオンシップ』について

- ① どうしても麻雀の手の中身の方が気になってしまい、はじめは心拍数の演出に気が向かなかったが、状況によって出演者の感情が読み取れる場面もあった。こういった技術を様々なジャンルに応用していくことで面白い番組づくりができると思う。

以 上